



# 一湊の風

学校便り No. 2

令和4年5月10日(火) 発行  
屋久島町立一湊小学校  
TEL:44-2130 FAX:49-5211  
熊毛郡屋久島町一湊488-1

校訓「明るく 元気で がんばる子ども」

ホームページ <http://www.satsuma.ne.jp/issoushou/>

## 令和4年度も1ヶ月が過ぎました。

校長 船迫 光一

全校児童29名でスタートした令和4年度も1ヶ月が過ぎました。この間には、入学式をはじめとして、多くの学校行事がありました。しかし、コロナ禍ということもあり、保護者や地域の皆様をお呼びしてというわけにはいかず、学校経営や学校行事についてお話しする機会がとれませんでした。そこで、この場をお借りしまして、令和4年度の一湊小学校の教育目標や4月に行われた行事での「校長の話」を紹介させていただき、一湊小学校の教育活動へのご理解を少しでも図れたらと思います。少し堅苦しくなると思われますがご了承ください。

### 学校教育目標

本年度の学校教育目標は、「心豊かで人権を大切にし、未来をたくましく生きぬく力をもった一湊の子供を育成する。」です。子供たちが将来、社会や世界と関わりよりよい人生を送るためには、学力や体力そして豊かな心をバランスよく育てる必要があります。そのために、一湊小学校では、「一人一人が大切にされる授業」「安心して過ごせる学校・教室」「互いのよさや可能性を認め合える仲間」をキーワードとして人権が尊重される学校づくりを目指します。

### 始業式・入学式での校長の話

今年も3つの「あ」を大切にしてほしいと話をしました。それは、「あいさつ・あんぜん・ありがとう」です。あいさつは、人とのコミュニケーションを良くしていくきっかけになりますし、相手への尊敬や親愛の気持ちを表すものだと考えます。ですから、学校だけでなく、家庭や地域でもきちんとあいさつができる子が増えたらと話しました。あんぜんは、交通事故、火災、地震、不審者、新型コロナウイルスなどの感染症から命を守るために必要なことを学び、その知識を実際に生かす必要性を話しました。最後のありがとうの語源の「有り難い」とは「有ることが難しい」ということで、めったにないことをいうそうです。誰かが自分に何かをしてくれるのを当たり前ではなく、有り難いことだと捉え「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるようにと話をしました。



## 令和4年 みんなの目標(低学年編)

1年	うちむろ ももか さん	「せんせいのはなしを よくききます。」
1年	とみ るるか さん	「べんきょうをがんばります。」
2年	あべ みわ さん	「牛にゆうをのこさないようにします。」
2年	さいとう たくま さん	「きれいな食べものをすくなくします。」
2年	すどう たくみ さん	「テストをちゅういしてうけます。」
2年	たけのうち ゆうり さん	「きれいな食べものをなくします。」
2年	たなか ゆうや さん	「すきな食べものをふやします。」
2年	はまがみ ゆずね さん	「きゅう食をぜんぶ食べます。」
2年	ふくやま ひなた さん	「べんきょうをがんばります。」
2年	まつもと わか さん	「一湊小学校の校かをおぼえます。」
2年	やきした こうすけ さん	「さんすうをがんばります。」
2年	わかまつ りこ さん	「かけざん九九をおぼえます。」

